

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立西唐津中学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が、生徒のことを第一に考えて、学力向上の取組や生徒指導にあたることができた。大きな事件・事故が発生せず、落ち着いた学校運営を行うことができた。 授業力の向上に関しては、校内研究や職員個人のマイプランに基づき、授業改善をすすめているが、まだ納得のいく成果が現れていない。今後もICTの利活用などを含めた指導法の研究が必要である。 いじめ防止の取組や平和教育など職員は日々研鑽を重ねているが、講師招聘などを行い、最新の指導方法や知識を習得していく必要がある。
------------------	---

2 学校教育目標	自他の「いのち」を尊び、自立し貢献できる生徒の育成
----------	---------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 生徒も職員も安心安全に生活できる学校づくり 教職員の人材育成(未来を担う若手教職員の指導力向上) 学校組織のスリム化
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師70%以上。	・校内研修で学力向上対策評価シートや各教科の取組を共有するとともに、学力向上に向けた取組の促進を図る。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○基礎学力の向上のための授業づくりの実践 ○補充学習と放課後レベルアップ学習会の実施	○定期テストで基礎的な内容の正答率が80%に達した生徒の割合が70%以上。 ○「意欲をもって補充学習に取組むことができた」生徒の割合が70%以上。	・校内研修を通して、指導方法や評価の在り方について研究実践を行う。 ・電子黒板やタブレット端末などのICTを積極的に活用した授業改善に取組む。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒80%以上。	・TTによる道徳授業を組むことで、生徒のささやきをひろい、思考を深める。 ・学校行事や地域行事等への積極的な参加を促す。							(主)道徳教育推進教師 (副)各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	・いじめの防止、対応についての研修を年間2回以上行う。 ・覚知時には対策委員会を立ち上げ、保護者と連携しながら解決に努める。							(主)生徒指導主事 (副)教育相談担当
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上。 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒75%以上	・キャリア・プランの作成とキャリア・パスポートの記入による、見直しと振り返り活動を行う。 ・キャリア・パスポートと学校生活を繋げることで自分の長所に気付かせる。							(主)進路指導主事 (副)各学年主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える生徒85%以上。 ○朝食を食べる割合90%以上。	・体験活動等を活用して食への関心を高める。 ・各学級1回は学活の時間に食育指導を行う。							保健主事 学校栄養職員 養護教諭 家庭担当教諭
	○教育相談の推進	○「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合が70%以上。	・気になる生徒の把握をする会議を定期的に行う。また、SCやSSWの活用などを含め小中合同の教育相談部会を定期的に行う。							教育相談担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定。 ・部活動ガイドラインに則った部活動休養日の設定と確実な実施。 ・会議のペーパーレス化など会議や事務の効率化を図る。							管理職
	○ICT活用による連絡等の効率化	○「はなまる連絡帳」アプリ版の活用によって効率化が進んだと回答する保護者・教職員の割合が80%以上。	・通信類のペーパーレス化やデジタルによる双方向化を推進する。							管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員70%以上。	・特別支援教育に関する研修会の実施							特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
○防災教育の推進	○「安全に関する資質・能力の育成」	○防災について関心があると回答する生徒80%以上。	・地域と連携した実践的防災教育に取り組む。 ・教科横断的な教育実践に取り組む。							教頭 防災教育担当
○生徒会活動の活性化	○生徒の主体的な活動の活性化	○規則正しい生活習慣の醸成を行い、あいさつの意識づけや授業遅刻者を0(ゼロ)にする。	・生徒会を中心にあいさつ運動を行う。 ・学校全体で場に応じた行動(服装・言葉遣い等)に努めさせる。							生徒会担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---